

PAT-NO: JP405171838A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05171838 A
TITLE: SECTIONAL TENT
PUBN-DATE: July 9, 1993

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TAMAURA, YUUICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
OGAWA TENTO KK N/A

APPL-NO: JP03355021
APPL-DATE: December 20, 1991

INT-CL (IPC): E04H015/44
US-CL-CURRENT: 135/87, 135/124

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a sectional tent which can be efficiently and securely assembled from the inside to the outside by turns so as to proceed relatively precise works in the first stage in favorable conditions as it is bright at hand and transfer to relatively coarse works by and by and finally achieve the work.

CONSTITUTION: An inner tent 1 is expanded on the erection ground and the four-leg frame is placed and the corner parts of the inner tent are jointed to the respective ends of the legs. Next, the inner tent is erected to install the central frame 15 to connect to the central lower end 16 of the outside of the inner tent 1 and the required parts of the center. And the frame is covered with an external tent.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-171838

(43)公開日 平成5年(1993)7月9日

(51)Int.Cl.⁵

E 0 4 H 15/44

識別記号

片内整理番号

9128-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-355021

(22)出願日 平成3年(1991)12月20日

(71)出願人 000185020

小川テント株式会社

東京都江東区冬木10番13号

(72)発明者 玉浦 祐一

東京都江東区冬木10番13号 小川テント株式会社内

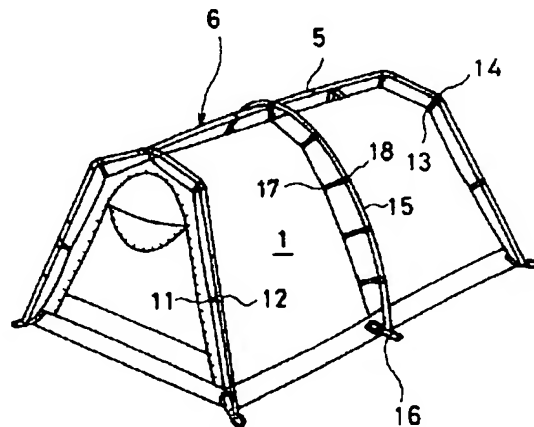
(74)代理人 弁理士 甲斐 正憲

(54)【発明の名称】 組立テント

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 能率的で確実な構築可能な組立テントであって、その構築を内側から次第に外側に進めて、比較的精細な作業を手許の明るい等条件の整っている最初の段階に進捗させ、次第に粗放的な作業に移行して完成できる新規のテントを提供する。

【構成】 内幕1を建設地上に展張する第1工程、四脚フレームを架設し各脚端部に内幕の隅端部を結合する第2工程、内幕1を立上らせ、中央フレーム15を架設して内幕1の外側中央下端部16及び中央要部に結合する第3工程、外幕をフレームに被覆する第4工程とを經由して張設される組立テント。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 グランドシートの周端縁に、下縁部要素を取り付けた内幕を建設地上に展設する第1工程と、逆U字型に継設されてなる前部フレーム及び同形の後部フレームの夫々の頂点を屋根フレームの両端部に結合して四脚フレームを架設し、該フレームの各脚端部に前記第1工程の内幕の隅端部を結合する第2工程と、第1工程で展設された内幕を立上らせて該内幕の端縁要素を第2工程の四脚フレームの夫々の対向部分に結合したのち屋根フレームを跨越して逆U字型に継設されてなりその両端部が内幕外側中央下端部と夫々結合するとともに内幕の中央要素を対向部分に結合する中央フレームを架設する第3工程と、該四脚フレーム及び中央フレームに外幕を被覆して該外幕内側でその要素を前記四脚フレーム及び中央フレームの対向部分に夫々結合する第4工程とを、經由して張設されることを特徴とする組立テント。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、内幕を、構築されたフレームに取付けた後に、該フレームの外部に外幕を被覆させて相互に連結し構成される新規の張設方法を採用してなる組立テントに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に従来テントは張設されたのちの形状や機能を最大に重視しているが現在では併せてその組立が、能率的でかつ張設が迅速確実であることが一層重要視されるべきである。従来のテントの場合、まずフレームを構築し、それに外幕を被覆して外郭を作り上げたのち、内部に内幕を運び入れて外幕やフレームに取付ける工程を経てテントを完成させるものでテントの構造制式等もかかる工程に合致すべくすべて考慮されていた。しかし、外幕を張設したあとのテント内部は、一般に暗く、かつ面積も狭いこともあって、内幕の取付けに際し、結合すべき相手の位置等の発見に手間取って多くの時間を要し、特に比較的大きなテントでは作業上に煩瑣を招くためこれを改善すべく組立テントを根本的に検討するよう要望されていたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は叙上の実状に鑑みてなされたもので、テントの構築を能率的にかつ確実にこなうことを意図して、内側から次第に外側に張設を進めて、比較的精細な作業を体力、気力が充実し手許の明るい等条件の整っている最初の段階に進捗させ、次第に粗放的な作業に移行しても完成できるテントを提供することをその目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、

a. グランドシートの周端縁に、下縁部要素を取り付けた内幕を建設地上に展設する第1工程と、

b. 逆U字型に継設されてなる前部フレーム及び同形の

2

後部フレームの夫々の頂点を屋根フレームの両端部に結合して四脚フレームを架設し、該フレームの各脚端部に前記第1工程の内幕の各隅端部を結合する第2工程と、
c. 第1工程で展設された内幕を立上らせて該内幕の端縁要素を第2工程の四脚フレームの夫々の対向部分に結合したのち屋根フレームを跨越して逆U字型に継設されてなりその両端部が内幕外側中央下端部と夫々に結合されるとともに内幕の中央要素を対向部分に結合する中央フレームを架設する第3工程と、
d. 該四脚フレーム及び中央フレームに外幕を被覆して該外幕内側でその要素を前記四脚フレーム及び中央フレームの対向部分に夫々結合する第4工程とを、
e. 經由して張設されることを特徴とする組立テントを要旨として成立するものである。

【0005】

【実施例】図1は、本発明の第1工程を示す説明図、図2は同第2工程を示す説明図、図3は同第3工程を示す説明図、図4は同第4工程を示す説明図である。

【0006】第1工程は、内幕1の建設地上に対する展設から開始される。この内幕には通常グランドシート2が付設される。グランドシート2は周端縁に内幕1下縁部要素を取付けられている。この際地上におけるグランドシートは皺を延ばして敷設し、内幕はその中に空気が入り易いようにファスナ等が十分開かれている。

【0007】第2工程では、逆U字型に継設されて前部フレーム3及び後部フレーム4並びに夫々の頂点に屋根フレーム5の両端部が嵌脱自在に結合し四脚フレーム6が架設される。四脚フレーム6の各脚端部7, 8, 9, 10には夫々内幕の四隅の隅端部が結合される。各フレームは、その長さが一定に製作されているので、構築される四角フレームは定格となり、従って定尺のグランドシートはその四隅に確実に結合される。

【0008】第3工程は、第1工程で展設された内幕を立上らせて第2工程の四脚フレーム6に、内幕の端縁要素例えば11と12又は13と14を夫々対向させて結合して、内幕1を四脚フレームに固定する。次に、中央フレーム15が架設される。中央フレーム15は数本のポールを逆U字型に継設するもので、屋根フレーム5を跨越してその両端が内幕外側中央下端部16（図示しないが反対側も同様である）に結合される。また、内幕の中央要素例えば17が中央フレームの対向部分18と結合する。中央フレームは、内幕に張りを与えて整容性を向上し後述の外幕に張り傾斜を与えて雨水の排除等を促進する。

【0009】第4工程は、第3工程の仕掛状態に、四脚フレーム及び中央フレームの上部に外幕19を被覆するものである。外幕は、図示しないが、その内側で四脚フレーム及び中央フレームと固く結合される。

【0010】

【発明の効果】本発明は以上の構成に基づくもので、内

3

4

幕の展張、フレームの構築、最後に、外幕の被覆の順序で張設される組立テントであるから通常テント内部で行われる精細な作業は手許の明るい等条件の整っている最初の段階に進捗させ、次第に粗放的な作業して完成される。従って、構築が能率的でかつ各要部の結合が確実であり、しかも、テントの強度及び居住性等の点においては、従来テントに全く遜色がなく新規の組立テントを提供するもので有用な発明である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1工程を示す説明図である。

【図2】本発明の第2工程を示す説明図である。

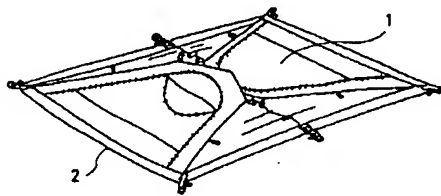
【図3】本発明の第3工程を示す説明図である。

【図4】本発明の第4工程を示す説明図である。

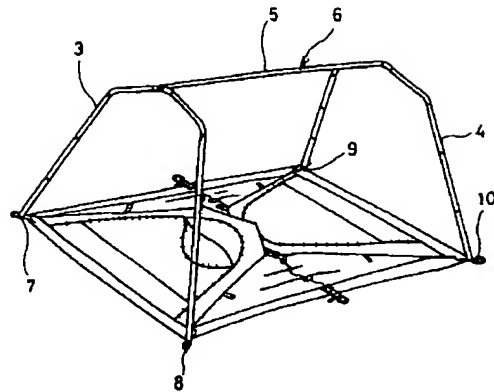
【符号の説明】

- | | |
|----|-----------|
| 1 | 内幕 |
| 2 | グランドシート |
| 3 | 前部フレーム |
| 4 | 後部フレーム |
| 5 | 屋根フレーム |
| 6 | 四脚フレーム |
| 7 | 脚端部 |
| 8 | 脚端部 |
| 9 | 脚端部 |
| 10 | 脚端部 |
| 15 | 中央フレーム |
| 16 | 内幕外側中央下端部 |
| 19 | 外幕 |

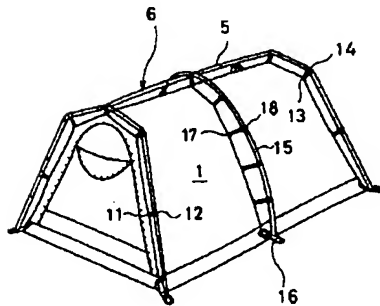
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

